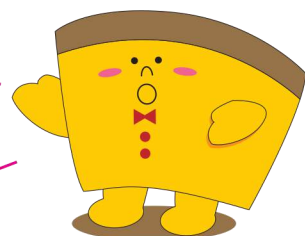


# 地域からはじめよう! 環境出前講座

を開催しませんか?



「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といったご要望がございましたら、各地域の推進員に出前講座の開催を依頼することができます。楽しい教材に子供たちも大喜び!みなさんも環境講座を開いてみませんか?

無料

## 主婦向け 家庭でできる省エネ講座

エアコンやテレビ、冷蔵庫など、講座を受けてすぐに実践できる省エネ講座。家計の節約にもなりますよ。

## 子ども向け 環境ゲームでエコまなぼ

ちょっぴり難しい省エネも、ゲームを通して楽しく学べます。省エネは子どもたちから率先してする時代へ。

## 実践編 エコバッグづくり

新聞紙を再利用して、エコバッグを作る講座。新聞紙がオシャレなエコバッグに変身しま〜す!

その他にも、様々なテーマに対応した講座が実施可能。



▲イベントに出展の様子



▲子ども向け講座

## <<出前講座開催までの流れ>>

### 1 出前講座開催の申し込み

センターのホームページ(<http://nccca.jp>)より申込用紙がダウンロードできます。実施予定日の**1か月前**までに申込書をセンターへ提出してください。

### 2 センターから各推進員へ連絡・日程調整

学習の時間 / 原則午前10時〜午後5時までの間90分以内

講師料 / **無料**(講座に必要な材料等を用意していただく場合がございます。)

※曜日、時間等とはご相談ください。なお、諸事情によりご希望に添えない場合がございますが、あらかじめご了承ください。

### 3 出前講座受付確定・実施

出前講座申込者へセンターから実施確定の連絡があり、当日推進員が伺います。

## 開催条件

※開催場所は県内に  
限ります!

※5人以上から  
開催可能です!



長崎県地球温暖化防止活動推進センター

お問い合わせ

住所: 長崎市元船町17-1 公益財団法人ながさき地域政策研究所 内  
TEL: 095-820-4868 FAX: 020-4623-5633 <http://nccca.jp>

エコnaga+

発行月 / 平成26年6月 編集 / 長崎県地球温暖化防止活動推進センター 発行 / 長崎県未来環境推進課  
〒850-8570 長崎市江戸町2-13 TEL / 095-895-2512 FAX / 095-895-2566

エコnaga+

オシャレなあなたは始めてる

プラス

長崎市役所のエコガールに尋ねました。

地球温暖化防止活動推進員って何するヒト?

私のマチのエコ企業

マチで見かけたエコ活動

長崎県からのお知らせ

第24号

2014.07



## CONTENTS 目次

01. 長崎地区学習会事例紹介  
県央(諫早)地区推進員紹介
02. 特集  
長崎市環境政策課の取り組み
08. 企業が行うエコ活動
10. 街で見つけたエコ活動
11. 平成26年推進員全体研修会
12. エコワード
13. 長崎県からのお知らせ

「エコnaga+」とは…

「エコnaga+」は長崎県地球温暖化防止活動推進センターが制作している環境冊子です。長崎県未来環境推進課より発行され、県民の環境への意識を啓発するための内容となっています。環境の最新情報や環境コラム、また県内企業や個人、団体の環境の取り組みなども紹介し、楽しく読める盛りだくさんの内容となっています。発行：4回／年  
配布先：各行政機関等（当センターへお尋ねください）

長崎県地球温暖化防止活動推進センターとは…  
「地球温暖化防止活動推進センター」は、各都道府県に設置されており、長崎県の当センターもその中のひとつです。地球温暖化防止活動に関する「啓発・広報活動」、「活動支援」、「調査」などを行っており、その一環として、「エコnaga+」で情報を発信しています。  
※本誌内では、〈センター〉と表記

長崎県地球温暖化防止活動推進員とは…  
「長崎県地球温暖化防止活動推進員」とは、地球温暖化防止のために自ら省エネルギー、省資源に取り組むとともに、地域住民の方々へ温暖化に関する情報の提供と温暖化防止活動の普及を進めてくださる方々です。県から委嘱を受け2年間の任期で推進活動を実施します。  
※本誌内では、〈推進員〉と表記

## 環境学習会事例紹介-長崎地区-



作って遊ぼう!!!リサイクルおもちゃ



スタッフ中村  
竹ぽっくり体験中



5月3日、長崎歴史文化博物館にて長崎地区の推進員が主催する「エコ学ば!作って遊ぼう!!!リサイクル」が行われました。空き缶ぽっくり・ぶんぶんゴマ・パタパタ・新聞紙での兜づくりなど、最近で

はあまり見かけない懐かしいおもちゃ作りを伝授。その後は推進員さんも一緒になって子供たちと遊び、世代を越えて誰もが楽しめる空間になっていました!

みんなで一緒にエコまなぼ!!  
-長崎歴史文化博物館-

## 県央(諫早)地区推進員紹介



5月17日に行われた諫早地区推進員会議に行ってきました!県央地区は範囲が広いので、今年初めて、推進員さんが独自に諫早地区での会議を開催しました。今年新しく推進員になった方が7名も参加していました。今年度の活動内容について話し合ったり…推進員ってそもそも何をすればいいの?という質問があったり…これからの諫早地区がどうなるのか、見逃せません!



10年前から省エネ関係に興味を持ち勉強させてもらっています。会社ではカーボンオフセットに取り組んでいます。

新人推進員です。よろしくお願いします。



行政に頼るのではなく、市民が自主的に行動することが大切だと思います。行政と協働しながらやっていきたいです。

3期目です。生活学校に所属していて、生ごみたい肥化等に取り組んできました。

廃棄物関係の会社で働いています。少しでも役立てるように頑張っていきたいと思っています。

諫早市役所隈部です。地球温暖化防止に関して多く予算はかけられない状況ですが、気持ちは皆さんと同じなので、熱くやっていきたいです。



# 長崎市の取組



名前はカタイがココロはやわらか。  
市民が楽しく取り組める  
環境政策を推進しています。

長崎市の環境政策を主に行っているのは、「長崎市環境政策課」。市庁舎の壁を使ってグリーンカーテンを育てるなど、役所でも自らエコ活動を行っています。今回はそんな環境政策課にお邪魔して、三人の担当者に長崎市の取組について取材しました！

長崎市役所別館の4階、爽やかな風の通る場所にワークスペースを構える環境政策課。地球温暖化対策やエネルギー政策・地域の環境の保全に関わる様々な業務等を担当されています。

長崎市は、平成21年に「長崎市地球温暖化対策実行計画」を策定し、2050年の将来ビジョンを掲げています。

今回はその中でも重点アクションプログラムに設定されている2つの取組について詳しくお話を伺いました。



吉田さん



金氏さん



二股さん

取材時のグリーンカーテン(5月28日)  
市役所を訪れた際はぜひ成長の様子を見ていってください。

長崎市環境政策課事務所風景



長崎市地球温暖化対策実行計画  
-重点アクションプログラム-

- ① ノーマイカー&エコドライブの推進
- ② 新エネルギーの利活用の推進
- ③ 東長崎エコタウン構想の推進
- ④ リフューズ(ごみ発生抑制)の推進
- ⑤ ながさきエコライフの浸透と拡大

## 長崎市地球温暖化対策実行計画

長崎市では、2050年までに、温室効果ガス排出量を2007年度比で80%削減するという、高い目標を掲げています。



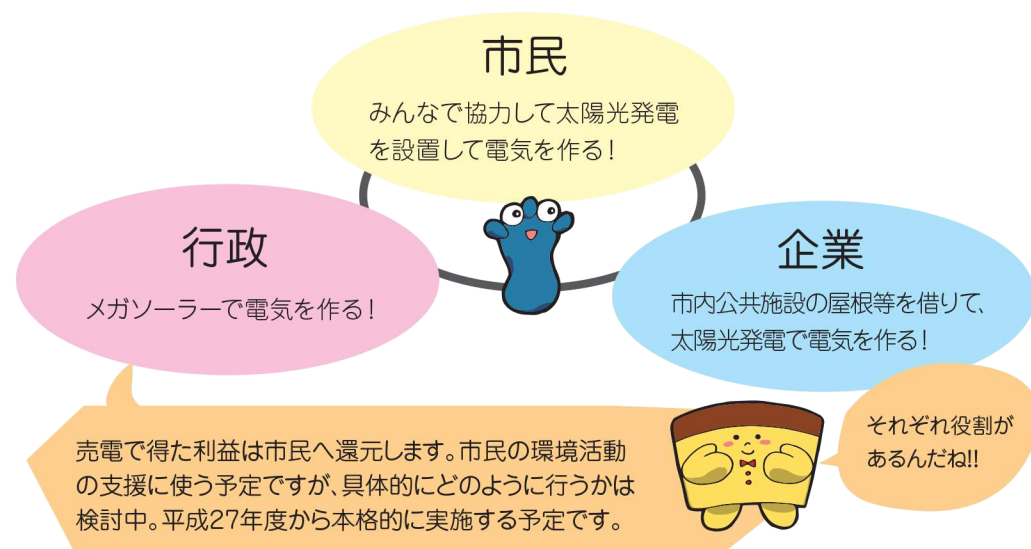
### 長崎市地球温暖化対策実行計画とは？

地球温暖化問題の解決のために、長崎市は平成21年3月に「長崎市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。その中では長崎市の低炭素都市づくりに向けた2050年度の将来ビジョンが設定されています。地球のためにまずは長崎市から、市民・市民団体・事業者、そして行政が協力し、人と自然と文化が輝く長崎市とかけがえのない地球を守っていくための計画です。



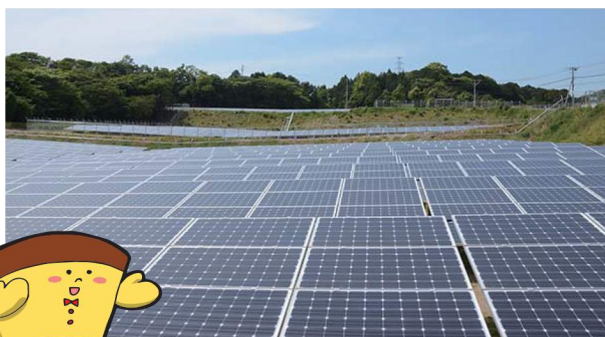
## ながさきソーラーネットプロジェクトとは？

温室効果ガスである二酸化炭素を出さずに発電する太陽光発電は、自然エネルギーを使ったエコな発電です。ながさきソーラーネットプロジェクトは、震災以降高まった再生可能エネルギーへの転換を進めるため、市民・企業・行政が協力して行う事業です。地域に降り注ぐエネルギーは地域で活用。地域の活性化に繋がります。主な取組は3つあります。



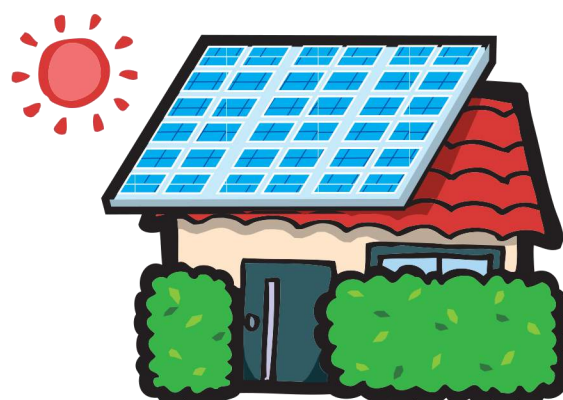
### ①メガソーラー事業

設置事例  
ながさきソーラーネット[メガ]三京発電所



太陽光発電出力 1,155kw、パネル4,620枚使用  
年間発電量 約127万kwh／年(20年間平均)  
一般家庭の年間電力消費量 約350世帯分／年  
温室効果ガス 約667トン-CO<sub>2</sub>／年  
排出量削減効果 杉の木の二酸化炭素吸収量 約48,000本分／年  
発電開始 平成26年3月1日

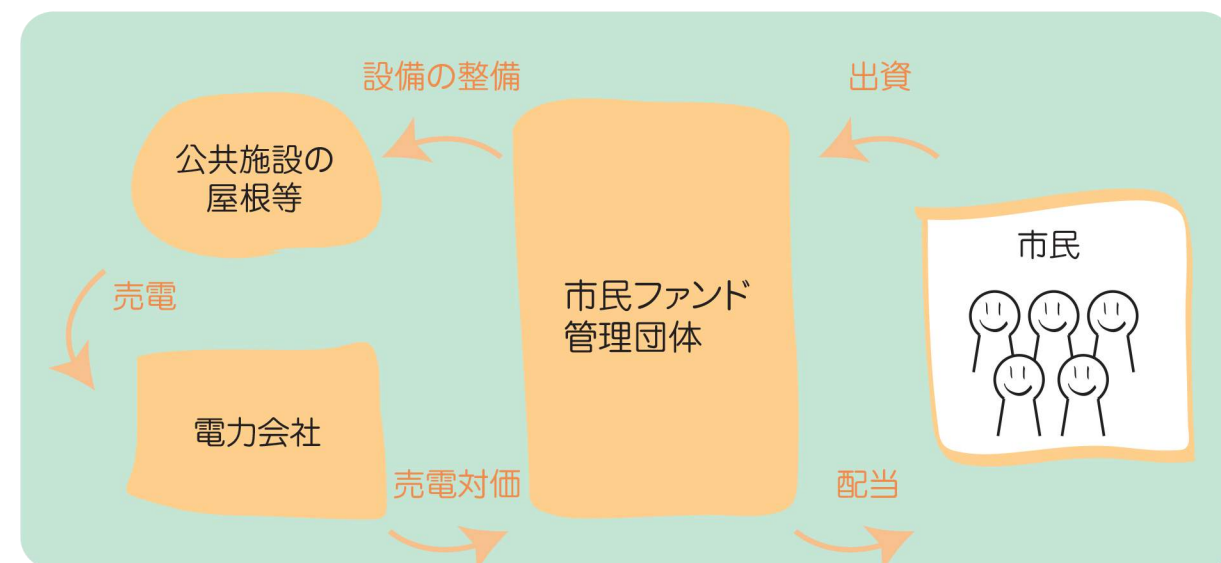
### ②公共施設の屋根貸し等による太陽光発電事業



市が保有する土地や建物の屋根等を太陽光発電事業者へ提供する取組です。今年度中に、市内の公共施設4か所に設置予定です。

### ③市民が行うエネルギーファント連携支援事業

ながさきソーラーネットプロジェクトの取組の3つ目、市民を中心として行う取組です。再生可能エネルギーの転換に賛同する市民がお金を出し合い、集めたお金で公共施設の屋根等に太陽光発電の設置を行います。出資者には売電収入から配当を行う予定です。



南向きの日当たりの良い屋根がない家や、マンション住まいの方はソーラーパネルをつけたくても、つけられません。環境に配慮した再生可能エネルギーを使いたいけれど、実際に自分の家で行うのは難しい…そんな人達が集まって少しずつお金を出し合えば、公共施設の屋根等に太陽光発電を付けることができる。再生可能エネルギーへの転換を望む市民が多ければ多いほど、太陽光発電装置が増えていく。市民が望む方向に進むことができます。

#### 太陽光発電の市民ファンドを募集します

ソーラーネットプロジェクト自体をもっと皆さんに知っていただきたいです。今年度から準備が整い次第、市民ファンドを募る予定です。WEB等で今後の情報をお知らせしますので、ぜひご覧ください。

「エコは我慢」ではなく、「エコは得をする」「エコがかっこいい」と思ってもらえれば、たくさんの人に広まるのではないかと考えています。皆で市民参加のエコライフをやりましょう!



## Step1

きっかけづくり

ながさきエコライフ・フェスタに参加しよう

毎年10月に開催されている、「ながさきエコライフ・フェスタ」は、遊びの中で自分たちでできるエコ活動を発見し、「エコってなんだろう?」という気付きを感じてもらうことを目的としています。自転車こぎ発電やごみ分別ゲームなど、毎年たくさんの企業や団体が出展します。市民参加のフリーマーケットも沢山あり、楽しみながら環境について考えることができます。今年度で5回目の開催です。

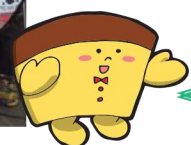


しりとりカルタ(当センターブース)

かえっこバザール

会場全体の様子

5年続いている  
イベントだよ



## Step2

続けてみよう

一週間続けてみよう!  
ながさきエコライフ・ウィーク

ながさきエコライフ・フェスタで自分を取り組めそうな環境行動を知ったら、今度は自分自身が、家庭や学校で取り組んでみます。会場や市の広報誌等を通じてエコチェックシートを配布しますので、それに記入して、自分の普段のライフスタイルをチェックしてみましょう!



エコチェックシート



## Step3

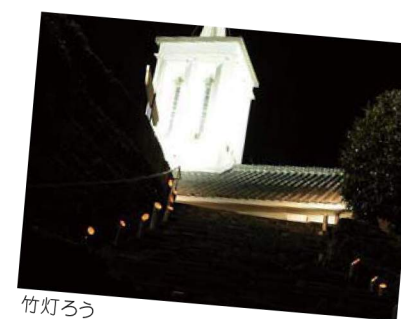
広げよう

広げよう!  
ながさきエコネット

エコネットは、未来の子どもたちのために、みんなで一緒に環境を守ろうという市民ネットワークです。エコネットにみなさんも登録し、できることから実践しましょう。長崎市からの様々な情報提供も受けられます!



エコネットフォーラム



竹灯ろう



CO<sub>2</sub>チェックグラフ

# Point!

- ①環境政策課から年に数回、環境関連の情報提供があります。
- ②ウェブで毎月の電気・ガス・水道・ガソリン料金を入力すると、今まで排出したCO<sub>2</sub>の量がグラフで分かります。

今まで、地域や市民団体の環境活動は単独で行われている傾向にありました。最近の多様な環境問題を解決するためには市民や市民団体の方、事業者、そして行政のそれぞれ異なる強みを持つ主体が集まって、目標を共有し、それぞれの役割と責任の下で協力して一緒に取り組んでいくことが重要です。



電気をこまめに消す等、自分にできる取組をどんな小さなものでも、1つでもいいので見つけて、取り組んでいただきたいと思います。また、面白ければぜひ継続していただきたいと思います。今年も、10月26日の日曜日に水辺の森公園でながさきエコライフ・フェスタが行われます!ぜひ遊びに来てください!



## ながさきエコネットとは?

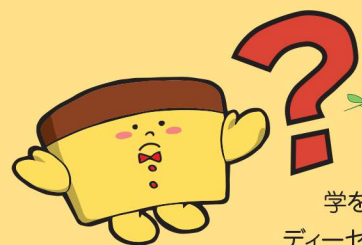
いろんな得意分野を持つ「家庭」や「団体」が協力して、未来の子供たちのために、皆で一緒に環境を守ろうという市民ネットワークです。2010年に発足し、毎月の定例会では、メンバー同士の情報交換やイベントの企画など、多くの人にどうしたら環境について考えてもらえるか、ざっくばらんに意見交換を行っています。市民のつながりをつくり、それが長崎市全体に広がり、皆で手を取り合って取組み、未来の子どもたちに美しい長崎を託すことを目標に活動しています。



企業が行うエコ活動

## 運輸会社が バイオディーゼル燃料の 製造事業に挑戦！

大村の運輸会社が「廃食用油」を、「資源」へと転換する「バイオディーゼル燃料(BDF)の製造事業」に取り組んでいるという情報を得て、早速取材に行ってきた。この日は推進員の研修会で、プラント見学が行われ、推進員さんも興味津々の様子でした。



そもそも、バイオディーゼル燃料って何？

そもそも、バイオディーゼル燃料とは何なのでしょう。今回プラント見学をさせて頂いた株式会社村里運輸の西澤さんに伺いました。「バイオディーゼル燃料とは、菜種油やヒマワリ油、大豆油などの生物資源由来のディーゼル燃料のことです。このプラントでは、天ぷら油などの廃食用油を使っていますよ」とのお話。今まで捨ててしまっていた天ぷら油を資源として活用し、燃料として活用するとは、なんてエコなんでしょう！



コンパクトなプラントに最新設備を投入  
九州一の精製能力規模を誇ります

実際に目の前でディーゼルエンジンを  
バイオディーゼル燃料で動かしてみました。



推進員さんと一緒に見学しました！

大村エリア「エネルギーの地産地消」

### 株式会社村里運輸のバイオディーゼル燃料の製造利用システム

国内の廃食用油の発生量は 40 万t／年であり、このうち飲食店や食品工場から発生する事業系廃食油 26 万t／年については回収され、飼料や石鹼原料として有効利用されています。残りの 14 万t／年については、一般家庭から発生すると考えられ、仮にその全量が回収されてバイオディーゼル燃料に転換されたとすると、約 16 万キロリットル／年(原油換算量 15 万キロリットル／年)となります。しかし、現状では、京都市をはじめとする各地域での取組があるにもかかわらず、回収・利用されている量は、原油換算で 0.5 万キロリットル／年程度です。運輸事業者であるため沢山のエネルギーを使って事業を行っている村里運輸は、この様に自分たちが地球に負荷をかけている状況を何とか打破できないかと試行錯誤し、プラントを立ち上げ廃食用油(なたね油、大豆油、キャノーラ油など植物性食用油)を回収し、バイオディーゼル燃料として精製。それを自分たちが運行しているトラックに活用する「エネルギーの地産地消」のシステムを構築したのです！

出典：全国油脂事業協同組合連合会

## バイオディーゼル事業は エネルギーの地産地消 なんだよっ！



あつめる



町内に置いてもらっている  
回収ボックス



回収のトラックも  
バイオディーゼル燃料で動いています。

現在、大村市での回収は事業系廃食用油に限られていますが、家庭系廃食用油の回収もモデル検証を平成25年12月から富の原2丁目町内会の協力のもと、回収を行っています。回収量は事業系が17万リットル／年、家庭系が180リットル／年(モデル検証:見込)となっています。

つくる

1  
原料



てんぷら油等の  
廃食用油

2  
反応  
工程



メタノールと触媒を  
入れてよく混ぜる

3  
脱水  
工程



温水で数回洗浄/脱水する

4  
完成



バイオディーゼル燃料完成

プラントの中では、給食センターやレストラン、食堂から回収された天ぷら油などの廃食用油を、メタノールと反応させることで粘り気や引火点を低くし、ディーゼル車で利用できる燃料にリサイクルしています。

つかう

平成25年3月～平成26年2月の1年間で132tのCO<sub>2</sub>を削減(東京ドーム3.4個分の植林に相当)しました。



精製した(リサイクルした)バイオディーゼル燃料は、村里運輸のトラックやバスで使われています。



バイオディーゼル事業部  
西澤秀樹さん

お話を伺った村里運輸の西澤さん。「まだまだこのバイオディーゼル燃料というものの自体、あまり皆さんご存知なく、捨てられている天ぷら油が沢山あるのではないかと思います。身近にある資源を活用して、自分たちのエネルギーを自分たちで作れるようになったらいいですね。」と、最後に笑顔で話していただきました。

【取材先】株式会社村里運輸 住所:長崎県大村市森園町1585-2 <http://www.murasato.co.jp/>



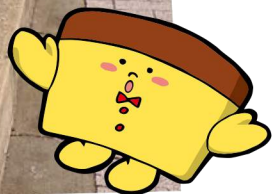


## 街でみつけたエコ

# まちなかの グリーンカーテンから 見えてきたエコタネ

- ひぐちグループの取組 -

街を歩いていると、道路沿いに育成中のグリーンカーテンを発見!そこは意外にも賑やかなパチンコ屋さんでした。どんな人たちが取り組んでいるのか、興味津々のエコな通信取材班が取材しました。



## どんなエコ活動をしているの?

ひぐちグループは、九州では有名な飲食店の「ジョイフル」(長崎地区限定フランチャイズ)、パチンコ店の「まるみつ」、DVDやゲームなどを取り扱う「遊ING」など、様々な分野で事業を行っている企業です。昭和25年設立後、地元企業として社会貢献活動を行っており、さらなる企業の成長と社会への貢献を目的として、積極的にエコ活動を行っているそうです。具体的な活動を伺うと、太陽光発電の設置、空調機フィルターの定期清掃、LED照明器具への更新等の店舗での省エネの他、地域での清掃活動等様々な活動を行っていることが分かりました!



地域清掃



店舗周辺の清掃活動

太陽光発電



太陽光パネルによる屋根焼け防止で、空調効率もUP

植樹祭



なんと今年で42回目!!

海岸清掃



年に数回海岸清掃も行っているそうです

遊技場経営企業  
日本初

長崎市  
でも初!

## J-クレジット制度を活用したカーボンオフセット

(旧J-VER)

遊技場経営企業日本初となる、J-クレジット(旧J-VER)制度を活用したカーボンオフセット活動を昨年度から行っており、今年度は三宝商事(株)で25t、(株)ひぐちで35t購入し、本社の年間電力使用由来のCO<sub>2</sub>と、営業車2台分のガソリン使用由来のCO<sub>2</sub>をオフセットしているそうです。

※J-クレジット制度を活用したカーボンオフセットの詳細内容については、12pのエコワードをご覧ください!!



総務部  
下村美由紀さん

今回取材を行ったひぐちグループ総務部広報担当の下村さん。ご自身ではマイバッグの持参や裏紙の使用、公共交通機関の利用などに取り組んでいるそうです。「広報担当なので、会社としても、社員向けにこのようなエコ活動を広めていきたいです。」と、笑顔で語ってくださいました。



こんな環境の取り組みが  
もっと地域に広がるといいね!

【取材先】ひぐちグループ 本社住所:長崎市西坂町2-3長崎駅前第一生命ビル4F <http://www.higuchi-gr.co.jp/>



## 平成26年度 長崎県温暖化防止活動推進員 全体研修会

### 平成26年度推進員全体研修会が開催されました。

全体研修会とは、温暖化に関する知識の習得や、推進員さん同士の情報交換、ネットワーク作りのため、年に1回行われている研修会です。全体研修会では推進員さんの活動事例紹介やバイオディーゼル燃料プラント見学、6つのグループに分かれて行ったワークショップや交流会などなど……様々な研修プログラムを経て、推進員さん同士の結束も生まれたようです。普段、なかなか推進員さんが一同に会することはないので、各地の環境学習の事例紹介など、有意義に過ごすことができました。

### 推進員地域活動事例紹介



### 長崎県環境保健研究センター 温暖化実験



簡単な実験器具を使って、温暖化の現象を再現。  
推進員のみなさん納得の実験内容でした!

### 長崎県の未来を語ろうワークショップ



6グループに分かれたワークショップでは、「2020年の長崎はどうなっているか」また、「推進員活動についてできること」という内容で意見を出し合い、発表が行われました。「長崎がおもてなしの世界一になる」「高齢者が活躍する町」などなど、様々な意見が出されました。





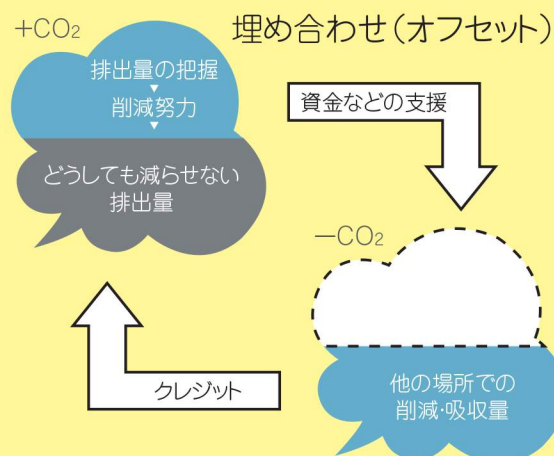
## 世の中にあふれるエコワード 調べてみると、よく分かる!!

### ●カーボンオフセット

どんなに頑張って削減努力をしても、どうしても二酸化炭素などの温室効果ガスは排出されてしまいます。こうしたどうしても排出されてしまう温室効果ガスを、別の場所での削減・吸収活動に資金を提供することで埋め合わせ(オフセット)することを、カーボン・オフセットといいます。

<http://www.j-cof.go.jp/cof/>

※出典：カーボンオフセットフォーラムサイトより



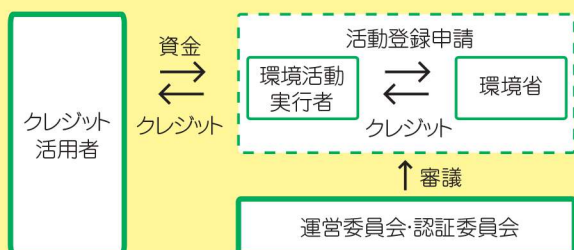
### ●J-クレジット制度

J-クレジット制度は、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

本制度は、国内クレジット制度とオフセット・クレジット(J-VÉR)制度が発展的に統合した制度で、国により運営されています。

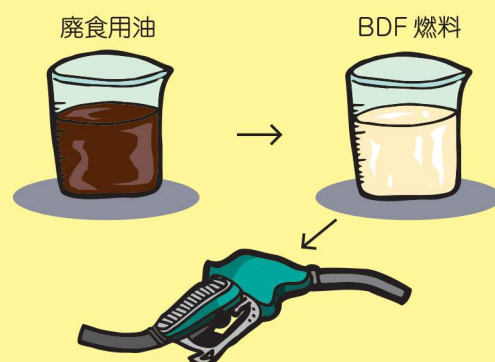
本制度により創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。

※出典：J-クレジット制度サイトより抜粋



### ●バイオディーゼル燃料(BDF) (Bio Diesel Fuel)

菜種油・ひまわり油・大豆油・コーン油などの生物由来の油や、各種廃食用油(てんぷら油など)から作られる軽油代替燃料(ディーゼルエンジン用燃料)の総称。BDFと略されることもあります。バイオディーゼル燃料は、大気中の二酸化炭素を吸収した植物から作るため、燃焼によってCO<sub>2</sub>を排出しても、大気中のCO<sub>2</sub>総量の増減に影響を与えず(カーボンニュートラル)、CO<sub>2</sub>削減の手段として注目されています。



### ●CSR (Corporate Social Responsibility)

「企業の社会的責任」を意味する言葉です。企業は法律を守り、提供する商品やサービスに責任をもち、従業員が働きやすい環境をつくり、消費者の声に耳を傾け、地域社会に貢献し、地球環境に配慮した活動をしなくてはなりません。CSRはこうした企業のありかたや取組全般のことを指し、社会的責任(SR)と呼ぶ場合もあります。



## 長崎県からのお知らせ

## 節電にご協力お願いします。

電力需給については、昨夏より大幅に厳しい見通しです。昨夏お取り組みいただいた節電を目安に、生活や健康、生産・経済活動に支障のない範囲で、可能な限り節電にご協力いただきますようお願いいたします。

### 期間

7月1日(火)～9月30日(火)の平日

(お盆期間8月13日(水)～8月15日(金)を除く。)

### 時間帯

9時～20時

電力需要のピーク時間帯(13時～17時)、特に16時台は重点的な節電にご協力をお願いします。

### 節電効果

#### ●冷房時の室温は適切に！

エアコンの設定温度を27度から28度にした場合、**約680円**の節約になります。

(エアコン(2.2kW)使用時間:9時間/日、外気温31度の時)

#### ●冷蔵庫にものを詰め込み過ぎない！

ものを詰め込んだ状態から半分の量に減らした場合、**約990円**の節約になります。

#### ●エアコンフィルターの清掃はこまめに！

フィルターを月1～2回清掃すると**約720円**の節約になります。

(フィルターが目詰まりしているエアコン(2.2kW)とフィルターを清掃した場合の比較)

#### ●洗濯物はまとめ洗いを！

まとめ洗いをすることで、電気代**約130円**、水道代**約3,820円**、**合計約3,950円**の節約になります。

(定格容量(洗濯・脱水容量6kg)の4割を入れて洗う場合と、8割を入れて洗う場合との比較)

## 省エネナビの貸出について

県では、家庭の電力使用量を、二酸化炭素排出量や電気料金に換算して、数値やグラフで表示するモニター装置「省エネナビ」を無料で貸し出しています。ぜひご活用ください！

お問合せ先 長崎県未来環境推進課

TEL 095-895-2512

ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/section/mirai/>

